

## プロジェクトちば&四街道

### ④ 地域と情報大のヒト・モノ・コトを記憶する Web サイト「ちば Active!」の開発・運用

#### 1. 研究組織

研究代表者： 河野義広 （東京情報大学・助教）

研究分担者： 堂下浩 （東京情報大学・教授）

担当部局： 千葉市花見川区役所地域振興課地域づくり支援室

#### 2. プロジェクトの目的

平成 27 年度に連携した千葉市花見川区に加え、四街道市とも連携し、地域活動と情報発信を主体として、学生教育や地域活性化に関する研究を推進する。具体的には、地域と情報大のヒト・モノ・コトを記憶する Web サイト「ちば Active!」の開発と運用を行う。対象地域は、千葉市花見川区、若葉区、四街道市とし、ちば Active!より地域の魅力や歴史、イベントの告知や報告、情報大の研究成果などを発信していく。ちば Active!は、地域と情報大との連携について、過去から現在、未来へと人々の記憶をつなげる Web メディアを目指す。

#### 3. プロジェクトの実施内容

本プロジェクトでは、地域活動や研究成果を記録するための Web サイト「ちば Active!」を開発し、各地域での活動記録を随時発信した（図 1）。主として取り組んだ地域活動は、以下の 3 点である。

- (1) 四街道市吉岡地区を中心とした「こどものまち」の企画・運営
- (2) 千葉市若葉区・中央区での「こどものまち」の参加
- (3) 千葉市花見川区での「IT 大学」の出席



図 1 ちば Active!の Web サイト

上記(1), (2)のこどものまちとは、地域の小学生が中心となり、市役所や警察、各種商店

## プロジェクトちば&四街道

などの箱庭の町の運営を体験する企画である。子ども達は、こどものまち敷地内にて各店舗での労働の対価として仮想の地域通貨を入手し、その通貨を利用して他の店舗でサービスを受けることで、擬似的な就業体験ができる。夏休みに開催される本番に向けて、大学生は小学生と接しながら企画をサポートした。当日の様子を図2、3に示す。四街道市の吉岡地区でのこどものまち開催は平成28年度が初年度であり、企画の段階からゼミの学生が実行委員長となり、地域住民との関係構築、吉岡小学校の児童の企画サポートや事前準備、当日の運営に至るまで、全行程にゼミ生が主体的に参加した。



図2 こどものまち当日の様子(1) 2016年8月25日撮影



図3 こどものまち当日の様子(2) 2016年8月25日撮影

こどものまちでの経験を振り返ると、お仕事センターでの子ども達への仕事の斡旋から店舗での労働確認、銀行での労働時間に基づく支払いといった一連の流れにおいて、大学生の監督負荷が極めて高いことが分かった。学生は、日中を通してほとんど休憩時間がなかった。そこで子ども達の労働時間の管理効率化のため、お仕事タイムカードシステムを開発した(図4)。このシステムは、入場時に発行された市民証をもとに、子ども達自身が労働店

## プロジェクトちば&四街道

舗の選択や労働時間の記録をタブレット端末上から操作できるための Web システムである。

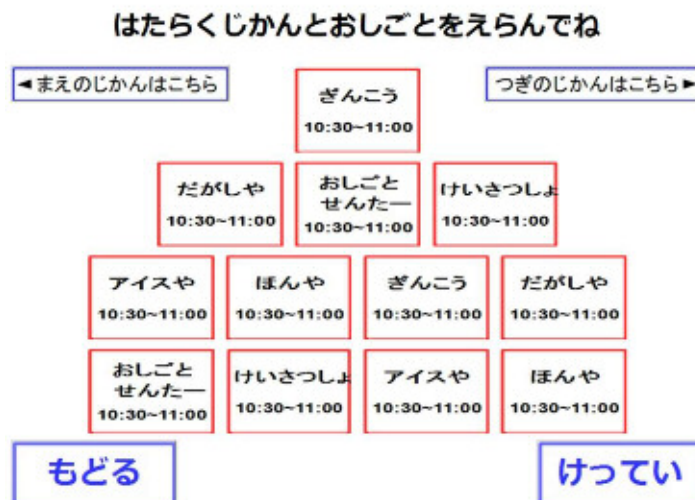


図 4 お仕事タイムカードシステムの実行画面

上記 (3) については、千葉市花見川区をはじめ、各地で開催される地域イベントの際に、子ども向け IT 教育メソッド「IT 大学」を実施した。IT 大学とは本プロジェクト発祥の手法であり、PC での名刺作り体験や楽しく IT を学ぶための IT すごろく、ツイキャスを利用したライブ配信、Scratch でのプログラム体験など、大学生が子ども達に IT を教えるための総合的な教育メソッドである (図 5)。当初の IT すごろくは、紙ベースであったため、同時に参加可能な人数が数名程度に制限されていたこと、問題の更新や入れ替えが即座に実行できないことなどの問題があった。そこで平成 28 年度は、IT すごろくのアプリ版の開発に取り組んだ。IT すごろくアプリ版は、平成 29 年度の地域イベントにて導入予定である。

上記の地域活動を通じて、学生の主体性や地域交流、子どもとの接し方、IT スキルなど、学生に対する教育効果を計測した。



図 5 IT 大学の様子

#### 4. プロジェクトの成果

本プロジェクトにおける最も価値ある成果の 1 つは、四街道市吉岡地区でのこどものまちを推進するにあたり連携した地域住民（市役所、NPO、主婦、小学生など）の方々や植草学園大学の教員・学生達との関係性である。これら一連の地域活動によって得られた関係性は、今年度以降のプロジェクト研究や学生指導を推進する際の礎となる無形資産といえる。

加えて、外部評価と教育・研究の観点から以下 2 点の成果について説明する。

- (1) 外部評価：四街道市でのまちづくり事業における助成金採択
- (2) 教育・研究：地域活動における学生の教育効果指標の策定

上記 (1) について、「平成 29 年度 みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」において、実行委員長を務めた学生がプレゼンテーションを行い、審査員からの評価を受けて助成金に採択された[1]。

また上記 (2) については、地域活動に学生が関わることで、学生の主体性や子どもとの接し方、行動力などの能力要素に与える影響を計測するための評価指標を策定した。具体的には、各能力要素に基づくルーブリックを作成し、その能力を定期的に計測しながら、地域活動や子どもと接する時間などの活動度合いを照合し評価を行うものである。これら学生の能力要素の評価については、平成 29 年度の活動の際に、継続的に計測する予定である。

#### <参考資料>

- [1] 四街道市, 平成 29 年度 みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）,  
[https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shisei/shiminsanka/shiminkyodo/29\\_presentation.html](https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shisei/shiminsanka/shiminkyodo/29_presentation.html)

以上